

第63回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）会議記録

日時 令和7年3月13日(木) 13時30分～14時05分

会場 新津医療センター病院 大会議室

参加者 15名 欠席8名

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・連携手帳「むすびあい手帳」の供給について

事務局より前回の手帳委員会後の行政機関（秋葉区および新潟市地域包括ケア推進課）との話し合い経過を説明。

新潟市長宛の文面については事前に委員に配布した物を一部変更した。

- ①むすびあい手帳の渡し方について・・・修正
- ②年間の配布数について・・・加筆
- ③1月からの供給状況・・・加筆
- ④新潟市長と秋葉区長連名を新潟市長宛に一本化

秋葉区健康福祉課を通じて、新潟市地域包括ケア推進課から文書を上げてもらうことにした。

新潟市地域包括ケア推進課との話し合いでは、冒頭、秋葉区の方々に迷惑をかけたことへの謝罪の言葉があったが、その後は手帳運用について意見を頂戴する形となった。内容は以下のとおり。

- 1 手帳カバーが高額なため安価なものまたは無しに出来ないか
- 2 手帳の配布方法がケアマネからではなく、サービス事業所としているが必要な方に渡されているのか。在庫を抱えているのではないか
- 3 デイ利用者のみ使用されているのではないか
- 4 包括センターはどのような在庫管理をしているのか
- 5 認知症の利用者に対して有効に使用されているのか

当面の間の手帳の供給については約束頂いた。

委員からは反論の言葉が相次ぎ、理解されていない状況に落胆の声が聞かれた。

手帳の有効使用の実例などピーアールが必要か、

新潟市では手帳についてアンケートを実施する模様

今後も当分の間はアナログ（手帳）とデジタル（スワンネットなど）の両方が必要。

委員会としては、手帳ケースの見直しや渡し方。対象者などの選定。供給財源なども考える必要がある。

2 連携手帳の発展的活用について
時間の関係で次回へもちこし

3 次回の手帳委員会
令和7年6月19日（木）13時30分～
会場 新津医療センター病院 大会議室

以上